

こんな人材が欲しい



一般財団法人 東北電気保安協会
宮城事業本部 事業本部長

高橋 宏治さん

粘り強く前向きに頑張れる人
コミュニケーション能力を持つ人が必要

私たちは、工場・ビルなどのお客さまを電気主任技術者の資格を持った技術者が定期的に訪問し、電気設備の点検・試験などの保安に関する業務を行っています。技術者には第三種電気主任技術者以上の資格を持つことが求められますが、試験の難易度が高く、高校在学中に取得することはなかなか難しいのが現実です。したがって、基礎学力・応用力を重視して採用し、入社してから試験合格による資格取得を目指してもらっています。資格取得については、自主学習を主としながら、アドバイザーによる学習指導や山形にある総合技術センターでのスクーリングなどの支援も行っています。



「工業高校と一緒にいい人材を育てていく」と語る総務本部長 三和清昭

さらに、電気主任技術者としてお客さまを担当できるようになるには、4年以上の実務経験が求められるため、長い期間先輩職員のもとで経験を積んでもらいます。こうしたことから、基礎的な学力・技能に加えて「粘り強く、前向きで、頑張れる人」を私たちは必要としています。技術は人から人へ継承されていくものですから、「先輩の話を素直に聞ける」「わからないところはすすんで質問できる」コミュニケーション能力は大切です。学生時代に部活動など集団の中で鍛えられてきた人、先輩の言うことをしっかり聞ける人が欲しいですね。



先輩に技術を教えてもらいながら、一人前の電気主任技術者を目指す。向上心とコミュニケーション力が求められる

工業高校での出前授業の様子。次世代を担う生徒たちに技術を伝え、職業観をしっかりと伝えている

私たちが他企業と同様定年退職者が増加し、人材確保が大きな課題となっています。「いい人材を確保する」ため、高校で行われている電気工事のコンテストなどの実績にも注目しています。2007年からみやぎ工業会が中心となって行っている「みやぎクラフトマン21」*の取組(インターシップや出前授業など)にも

積極的に参加しています。出前授業では、生徒の皆さんに学校とは違う実践レベルの授業を受けてもらっています。今後ともクラフトマン21の取組を通じて、多くの生徒さんに当協会の仕事に興味を持っていただき、「活力のあるいい人材」を獲得していきたいと思っています。

また、工業高校の先生などを対象として、電気設備の保守管理業務の実務講習会を開催しています。「私たちがどんな人材を求めているか」を、高校の先生方に知ってもらうことも大切だと考えているからです。

*：県内のものづくり人材の育成を目指す、産業界、行政、教育機関が協働し、県内の工業系高校において生徒の技術支援などを行う取組。2007年度から実施

基礎的な学力や技術力 コミュニケーション能力を育てる

宮城県工業高校は機械科・電子機械科・電気科・インテリア科・化学工業科・情報技術科の6学科8クラスで、生徒総数953人を有する県内最大規模の工業高校です。進路指導部だけでなく、各学科との連携・役割分担を行い、教職員一丸となって指導体制を充実させています。

また、「文武両道」を掲げ、授業とともに課外活動にも意欲的に取り組んでいます。企業の採用担当の方に「スポーツや部活動を頑張ってきた人が欲しい」とよく言われます。



授業が終わってから始まる部活動。コンテストに向け実践練習は夜まで続く

これは、基礎的な学力や技術力はもちろん、部活動を通して得られる「頑張り」と「協調性」などが企業に求められているからだと思



「課外の活動にも意欲的に取り組んで、実践力のある人材づくりを目指しています」と語る萩野元彦教頭

います。運動部はもちろん、文化部も「体育会系文化部」と言われるくらい熱心に頑張っています。コンテストや競技大会の前に、実践練習に夜遅くまで取り組んだ結果、県内で上位の成績を取め東北大会・全国大会にも進出しています。

部活動を通して、生徒は技能・技術の習得と、集団の中での協調性やコミュニケーション能力を身につけていると自負しています。

ものづくりにおいて必要なのは、やはり「現場での実践力」だと思っています。地域の企業との深い連携を図りながら、生徒は現場での生きた技術・技能の習得を目指しています。「みやぎクラフトマン21」などの実践指導を積極的に授業に取り入れ、深い職業観を身に付けていますし、ものづくりコンテストな

どで受賞できるほどの、高い技術力も習得できていると感じます。さらに、地域の企業に工場見学などもさせていただき、生徒は「仕事の現場ではどんなことが必要になるか? どんな人材が求められているか?」を肌で感じています。

技能や技術力だけでなく、社会人としての基本的な資質やマナーを習得するため、定期的に「就職ゼミ」を行って指導しています。さらに、「保護者向け進路セミナー」も実施し、家庭でも就職に意識を持っていただく取組もしています。

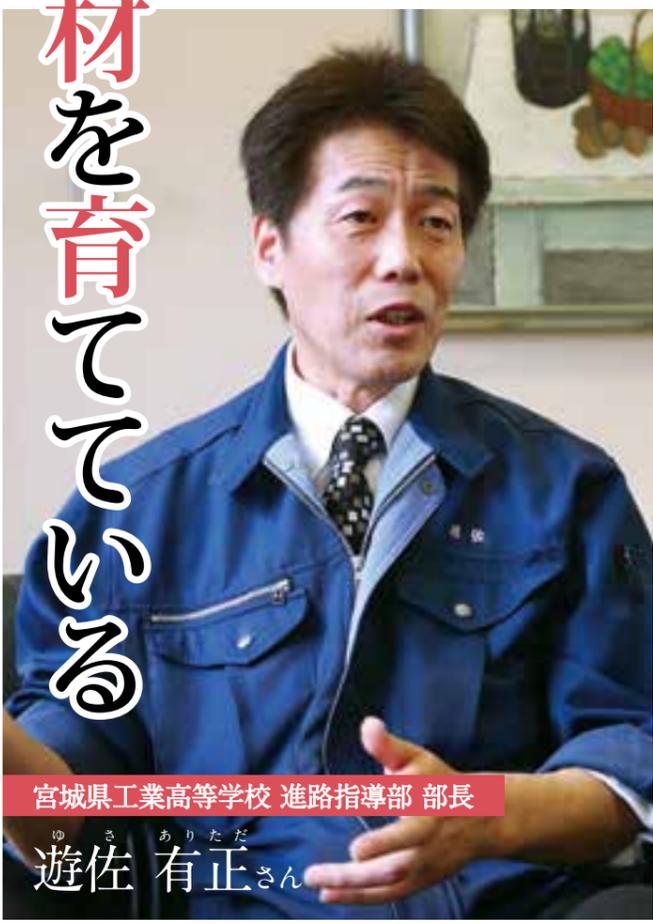
このように、地域、そして家庭と連携をとりながら、社会適応性・協調性・コミュニケーション能力を持つ生徒の育成に励んでいます。

宮城県工業高等学校
2013年度には、創立100周年を迎えた歴史と伝統を誇る学校。卒業生は約2万人を数え、地域はもとより世界各地で技術者として活躍している

所在地
仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1
TEL 022-221-5656
FAX 022-221-5660
http://miyagi-th.myswan.ne.jp



こんな人材を育てている



宮城県工業高等学校 進路指導部 部長

遊佐 有正さん